

## (専門分野)

授業科目	地域・在宅看護援助技術	講師	外部講師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.在宅看護活動を支えるコミュニケーション技術を習得する。 2.在宅看護に共通する技術を習得する。 3.在宅における医療管理を必要とする対象の看護について理解する。				時間数
					30
					学年
					2
					時期 第1学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	在宅看護の活動を支えるコミュニケーション	1.療養者や家族を支援するためのコミュニケーション技術 1)在宅看護におけるコミュニケーションの特徴 2)訪問看護におけるコミュニケーション 2.信頼関係を築くためのコミュニケーションのポイント		講義	外部講師
2~3		1. コミュニケーションの実際 1)家庭訪問のシナリオ作成 2)家庭訪問の実施		演習	外部講師
4	在宅看護に必要な技法	1.ヘルスアセスメント 1)在宅ケアにおける観察 2)在宅でのヘルスアセスメント		講義	外部講師
5		1.自立支援技術 1)在宅での食生活、嚥下に関する援助技術		講義	外部講師
6		1.自立支援技術 1)在宅での清潔に関する援助技術		講義	外部講師
7		1.住まい・生活環境の整備 1)在宅療養を支える住まい・生活環境の整備 2.在宅での移動に関する援助技術 1)在宅での移動・移乗の特徴 2)移動・移乗に関するアセスメントと援助技術		講義 演習	外部講師
8	安全を守る技術	1.在宅看護でのリスクの特徴 2.在宅におけるリスクマネジメントの考え方 3.生活の中で起こり得るリスクの予測と予防 4.訪問看護師の医療行為 5.家族の医療行為		講義	外部講師

9	感染予防 災害に対する準備と対応	1.在宅での感染症の特徴予防対策 2.災害サイクルとは 3.訪問看護ステーションにおける災害への備え 4.災害サイクルに応じた対応	講義	外部講師
10	在宅における医療管理を必要とする対象の看護	1.在宅での排泄に関する援助技術 1)在宅での排泄の特徴 2)排便コントロール 3)ストーマ(人工肛門・人工膀胱)・ストーマケア 4)尿道留置カテーテル	講義	外部講師
11		1.褥瘡の予防とケア 1)褥瘡のアセスメント 2)褥瘡予防 3)褥瘡ケア	講義 演習	外部講師
12		1.経管栄養法 1)経管栄養法の種類と適応 2)胃瘻からの経管栄養 3)生活の工夫 2.在宅中心静脈法(HPN) 1)適応条件 2)在宅中心静脈栄養法を実施している対象への看護	講義	外部講師
13		1. 非侵襲的陽圧換気療法(NPPV) 2. 在宅酸素療法(HOT) 1)HOT 機器の取り扱いと管理方法 2)日常生活の過ごし方 3.在宅人工呼吸療法(HMV)と排痰法	講義	外部講師
14		1.薬の自己管理支援 1)在宅での服薬管理の特徴 2)在宅での服薬援助・指導の実際 2.疼痛緩和 1)在宅看護での疼痛管理の特徴 2)疼痛のアセスメント 3)疼痛に対する看護ケア	講義	外部講師
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践	